一関工業高等専門学校	開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	日本語表現法

科目基礎情報

科目番号	0001	科目区分	一般 / 必修
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	一般科目	対象学年	4
開設期	前期	週時間数	2
教科書/教材	レポートの組み立て方　／プリント		
担当教員	渡辺 仁史		

到達目標

日本語による適切な表現能力の涵養をめざす。語彙のみならず、構文、文章構成への配慮、敬語を含む表現の社会的倫理を合わせて学習し、適切なコミュニケーションとは何かを修得する。
教育目標B　学習・教育到達目標B-2

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	言語行為が多角的に理解できる	言語行為の概要がわかる	言語行為の問題点がわからない
評価項目2	文章を推敲し文法に即した文章が書ける	文章を推敲し理解可能な文章が書ける	文章の推敲ができない
評価項目3	高度な敬語を使用することができる	一般的な敬語を使用することができる	敬語が十分使用できない

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	素材の収集から科学論文で必要な語彙の涵養、文章の組み立て方、推敲、プレゼンテーションのあり方等にいたる表現の問題点について学習し、併せて敬語の実践的な活用についても発表を通して修得する。
授業の進め方・方法	文章表現についての講義及び演習、敬語の活用の仕方について発表を通して学習する。
注意点	評価方法・評価基準　定期試験によりコミュニケーションに関する知識、並びに日本語の習熟度を評価する。 事前学習　良い文章を書くためには平素からの読書が重要であるので努力を怠らないこと。

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	表現とは何か	日本語表現の学習の仕方がわかる
		2週	コミュニケーションとは何か	言語の仕組みがわかる
		3週	コミュニケーションとは何か	言語の仕組みがわかる
		4週	コミュニケーションとは何か	言語の仕組みがわかる
		5週	文章の素材の集め方	文章の素材の集め方がわかる
		6週	表現の倫理と著作権について確認する	表現の社会性がわかる
		7週	既存の文章表現法から学ぶ	事実と意見の書き分けの重要性がわかる
		8週	既存の文章表現法から学ぶ	何を書いてはいけないかがわかる
	2ndQ	9週	文章の書き出しの工夫	書き出しで躓かない工夫がわかる
		10週	論節分の表現方法	様々な表現方法の工夫がわかる
		11週	理工系のための語彙集	理工系で最低限必要な語彙がわかる
		12週	推敲・要約の観点	文章の推敲・要約の仕方がわかる
		13週	要約の観点	長文の要約の仕方がわかる
		14週	プレゼンテーションの留意点	プレゼンテーションの工夫
		15週	定期試験	
		16週	達成度の点検	学習内容の再確認

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	20	0	0	0	0	100
基礎的能力	80	20	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0